

## バイデンの国務次官ヌーランドの戦争屋背景が暴露される

<https://www.infowars.com/posts/thread-war mongering-background-of-biden-undersecretary-nuland-exposed/>

Kelen McBreen | Infowars

February 23, 2023

ウクライナの映画作者 Igor Lopatonok が、水曜日、話題となったツイッター・スレッドを投稿し、ジョー・バイデンの政治問題担当国務次官ビクトリア・ヌーランド (Victoria Nuland) の、暗黒の背景に焦点を当てた。

伝説的な映画作者オリバー・ストーンを登場させるドキュメンタリー『ウクライナ燃える』の監督兼プロデューサーとして、ロパトノクは、10年近くもウクライナの西洋革命を追い続けてきた。

このツイッター・スレッドを、ヌーランドから始めたロパトノクは、彼女の祖父母がモルドバとベラルーシの出身だと言い、これが彼女の個人的な事情を説明すると言った。

ヌーランドの経歴を通じて、彼女はずっと外交問題担当であり、モスクワ、モンゴル、及び中国の大使館に勤務した。

ディック・チェイニーのような戦争屋の教育を受けて、ヌーランドは、軍-産複合体がその「永遠の戦争」を続けるのを助ける専門家となった。

ロパトノクは、ヌーランドが、80年代に「ソ連の漁船」上での勤務の後、CIA で働くようになったようだと述べている。

このあと彼女は、米民主党大統領ビル・クリントンのために働き、前ユーゴスラビア連合共和国大統領スロボダン・ミロシェビッチに対して交渉を続けたが、その間、NATO が1999年にこの国を爆撃している。

戦争屋としてのトリア (ビクトリア) の人生の次の大事業は、イラク戦争を夫の Robert Kagan と一緒に工作したことだった、とロパトノクは書いている。

カーガンは、ネオコンのシンクタンク「新しいアメリカの世紀プロジェクト」の創設メンバーとして、トップのグローバリスト社会工作者であり、いくつかの政府で働いた米大統領外交政策アドバイザーである。

ビル・クリントンが 1998 年にイラクを爆撃した後、カーガンは「イラクを爆撃しても十分でない」と言いながら、このアラブ国に米軍を地上侵攻させた。これは悪名高い話だ。

この『ウクライナ燃える』の監督は、ビクトリアがウクライナに関わって大失敗をやらかす前に、アラブの春もまた「彼女が指紋をいっばいつけた」ものだ、と言っている。

まず 2012 年に、ロシアで革命の火花をつけようとして失敗した者たちの中の、ヌーランドは一人だと言われる。

ロシアの野党党首アレクセイ・ナバルニーが、彼女の腹心の一人で、この作戦は、その時の国務長官ヒラリー・クリントンに監視されていたと言われる。

この監督はまた、彼のドキュメンタリーにリンクを投稿しており、いくつかの追加リンクが人々に検索され、やがて、ツイッターのイーロン・マスク CEO が「面白いスレッドだ」とコメントして話題になった。

このヌーランドの背景を見れば、彼女があまりにも深く、現行のウクライナ-ロシア紛争に関わっているのが、NATO がロシアというライオンを、より深くコーナーに追い詰める気になったとしても、頷ける話である。

[訳者 Greatchain 注]

[http://img.rt.com/files/news/3a/10/d0/00/2644909\\_gayane\\_web.mp4?event=download](http://img.rt.com/files/news/3a/10/d0/00/2644909_gayane_web.mp4?event=download)

昨晚 (2月25日) のNHKによる、ロシア=プーチンに対するヘイト番組は、上のビデオの、ビクトリア・ヌーランドによる断言的な、ロシアへのヘイトスピーチと、あまり変わらないものだった。

ところで私の、このような多少の文筆の能力を認めてであろう、あなたには大きな儲け仕事があるが乗らないか、と言ってくる人がいる。私は年金しか収入がないが、たとえ何億円積まれても乗る気はない。多くの人々を騙すような仕事であればなおさらである。

私はプーチン・ファンと言えるほど、長年、プーチンに興味をもっていて、彼こそ典型的な人格者であると考えている。2014年、(このフィルムにもある)マレーシア航空機がウクライナで撃墜されたとき、彼への中傷に気を遣った世界の人々が、連名で謝罪状を彼に送り、これが膨大な量になった。また、彼は絶妙なたとえで、いわば人格者としてのダイヤモンドバックに擬せられている(詳細は調べていただきたい)。そういった評価が、時間が経つにつれ、彼がますます苦境に立たされるにつれて、ますます確実となった。今度のプーチン演説の言葉遣いに注目せよ。言葉はやはり人を裏切らない。